

## 現代社会

教科	公民科	単位数	2	学科・学年	全科 1年
使用教科書	現代社会（東京書籍）				
副教材等	ニュービジョン現社（浜島書店） 担当教員が配布するプリント				

## 「現代社会」はどんな科目？

生徒が現代社会の基本的な問題について関心を持ち、自ら調べ、考える科目です。  
身近な問題に目をむけて、新聞、テレビなどの情報に対する正しい感覚と幅広い知識を学びます。

## 「現代社会」の学習の特徴は？

- ① いろいろな社会の出来事にたいしての関心が高まります。
- ② 自分の考えをまとめる力をつけます。
- ③ 実社会に役立つ内容を理解できます。

## 「現代社会」で大切なこと（留意点）は？

授業規律をしっかりと守り、実社会でも対応できるように積極的に授業を受けてください。

## 1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	第1部 現代社会に生きる私たちの課題	世の中の出来事を幅広く理解する。
	5	第2部 現代の社会と人間としてのあり方生き方	経済状況と就職の問題等を理解する。
	6	〈中間考査〉	思春期特有の時期を自覚し、学校での目標意識を高める。
	7	第1編 現代の社会生活と青年 〈期末考査〉	
2 学 期	9	第2編 現代の経済社会と経済活動のあり方	基礎的な経済と政治を学び、生活に深く関わっていることを
	10	〈中間考査〉	理解しながら、主体的な選挙権、1票の価値を考える。
	11	第3編 現代の民主政治と民主社会の倫理 〈期末考査〉	21世紀を生きるために、国際社会の日本人としての自覚を持つ。
	12	国際社会の問題	
3 学 期	1	第4編 国際社会の動向と日本	学習内容が現実と乖離しないように、時事的なことを補足
	2	時事問題	し、コミュニケーション能力（話す・聞く）についても向上
	3	現代社会のまとめと話し合い 〈学年末考査〉	させる。

## 2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	社会的現象に対し、意欲的に関心を持ち探求していこうとする。
思考・判断・表現	社会的矛盾の原因を探求し指摘していく。
資料活動の技能	自ら意欲的に情報を得、情報から真実を見いだしていく。
知識・理解	社会的現象の実態の原因と問題点を理解し、解決を見いだす。

評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ◆年5回の定期考査
- ◆授業プリント（内容と提出状況）
- ◆出欠席状況、学習活動への参加状況（授業への取り組み・授業中の発言内容など）

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## 3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

学習は継続してこそ意味があります。現代社会は暗記科目と思っている人は間違いです。世の中の出来事に関心をもって、自分なりの感じ方、考え方ができることが重要です。